

校訓 日新

学校教育目標

- ・美しい心
- ・輝く知性
- ・たくましい体

日新

学校だより 3月号
令和4年3月17日
都留第二中学校
文責：鬢櫛利和

この一年を振り返ると、非常に大変な一年でした。

今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響で、5月の修学旅行を7月に延期したり、2学期始めには分散登校があったり、3学期には県の緊急協力要請による部活動停止や分割授業の措置があったりするなど、教育活動に数多くの制限がかかりました。

しかし、このような制限の中であっても、生徒たちは石花海祭や合唱祭、三年生を送る会など、卒業した3年生を先頭に、全校みんなで心をひとつにして、しっかり前を向いて、進んで来ました。コロナ禍であっても、足を止めないで進んで来たことは、生徒たちの大きな自信になったと思います。そして、この一年を通して、全校生徒、先生たち、みんなが誇れるような学校を築くことができたと思っています。

次年度も、まだまだ先行き不透明な状況が続くと思われませんが、これまでの経験を生かし、全校みんなで足を止めないで、一步一步進んでいきたいと思っています。



分割授業（3学期）

私は、この2年間のコロナ禍を経験して、はっきりしたことが二つあります。

それは、「命より大事なものはない」ということ。もう一つは、「教育は止めてはいけない」ということです。コロナ禍の学校運営を経験して、この両輪をまわし続けることは大変難しいことだと実感しました。そして、最後まで止めることなく、まわし続けることができたのは、保護者の皆様や地域の皆様のご理解ご協力があったからだと感謝しています。本当にありがとうございました。

『三年生を送る会』を開催しました！

3月8日（火）に、三年生を送る会（三送会）を開催しました。今回は、感染対策のため、新生徒会を中心に1，2年生が作成したビデオレターを3年生が体育館で鑑賞し、3年生の発表を、リモートで体育館から1，2年生の教室に届けるかたちをとりました。

三送会は、新生徒会にとって初めての生徒会行事です。また、1，2年生が心をひとつにして取り組む初めての行事です。コロナ禍ではありましたが、テーマ「思い出 ～感謝の気持ちと旅立ちの Yell～」を掲げ、「3年生に感謝の気持ちを伝えるために、どうしたらよいのか。」を、みんなで知恵を出し合い、工夫をこらしながら取り組んできました。

当日は、装飾・贈り物実行委員が綺麗に装飾した体育館に3年生が集い、1，2年生は各教室でリモートによる参加をしました。

新生徒会本部が進行を務め、実行委員長の話や各学年委員長の話から始まり、ビデオレターによる1学年発表と2学年発表、1，2年代表者による応援、心のこもった贈り物がありました。どの発表も、先輩への感謝の気持ちがたくさん詰まった温かい発表でした。

そして、最後に、3年から熱いメッセージが1，2年生に届けられました。今年度の三送会も、お互いに感謝を伝え合う温かい会になりました。



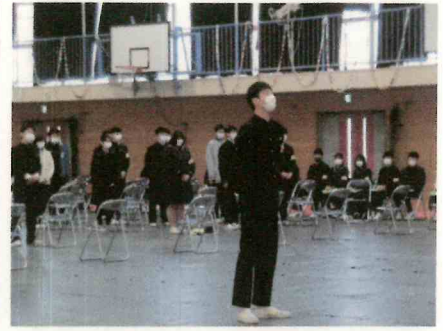
本校体育館にて



1, 2年から贈り物



1, 2年代表者の応援



3年生からメッセージ



第56回卒業証書授与式を挙行了しました！



3月10日(木)に、第56回卒業証書授与式を挙行了しました。この日は、朝から青空が晴れ渡り、桜のつぼみも大きくふくらみ、春の訪れを感じさせる穏やかな一日になりました。

このような春めいた暖かい空気に包まれる中、112名の卒業生が本校を巣立ちました。

今年度も、感染対策のため、時間短縮や参加人数などの様々な制限がありましたが、卒業生の態度は最後まで立派で、三年間仲間と共に過ごした学び舎を巣立つ淋しさと、これから勇気を出して一步を踏み出す決意が伝わってくるような厳かな卒業式でした。

コロナ禍であっても、「こんなに素晴らしい卒業式ができるんだ。」と卒業生たちに心から感謝したいと思います。

卒業生は、1年生のときに「平成」から「令和」へとうつり変わる新たな時代の幕開けに立ち会う貴重な体験をしました。そして、最後の一年間は、今なお続くコロナの影響で様々な教育活動が制限される中、最高学年として、しっかり前を向き、生徒会スローガン「One Team」を掲げ、常に先頭に立って全校を力強く引っ張っていました。生徒会最大行事の石花海祭では、「どんな石花海祭にしたらよいのか。何ができるのか。」を、みんなで知恵を出し合って話し合い、自分たちの手で立派に創り上げました。また、昨年秋には、感染拡大が弱まった時期に、3年生を先頭に全校生徒で取り組んだ合唱祭が2年ぶりに開催されました。卒業生たちの残してくれたものは、本校の大きな礎になりました。

卒業式後、校庭で待つ父母や先生たちに、卒業生が最後の校歌を披露しました。卒業式の中で歌えなかった悔しさがあったと思いますが、その悔しさを吹き飛ばすような校歌が青空に大きく響き渡りました。きっと、この最後の校歌は、一生忘れることのない大切な思い出になったことと思います。



3年2組(教室にて)



3学年職員



(スタンドにて) 3年1組



3年3組



3年4組